



昨日12月に開催された第1回検定の様子。  
真剣にテストに取り組む小学生

## ジュニア防災検定

□ 小中学生に防災意識を高めてもらうための「ジュニア防災検定」(一般財団法人「防災検定協会」主催、内閣府・総務省消防庁など後援)の第2回一般受検が7月6日(日)、全国7会場で実施されます。昨年に続き2年目。自分と周りの人たちの命を守ることができます。「防災力」を身につける絶好の機会です。申し込み締め切りは6月16日です。

【三野雅弘】

(この写真は、昨年の第1回の時に受検者から提出された作品です)

# 身につけよう「防災力」

### ステップ1

#### 事前課題ニリポート作成

防災について家族で話し合いましょう。事前課題シートに書いて、検定テストの日に会場で提出。

### ステップ2

#### 検定テスト=選択式、記述式

自然災害の種類、歴史や科学、社会などと自然災害の関わりについての出題。

### ステップ3

#### 事後課題=自由研究

防災について自分で調べ、まとめてみましょう。防災マップ、防災年表、防災新聞、ポスター、作文など。

### 審査

「事前課題」「検定テスト」「事後課題」を総合評価。合格すると「J BKバッジ」がもらえるます。

## 家族で挑戦!



**第2回一般受検**

2014年7月6日(日)

申込み締め切り=6月16日(月)

予定会場 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

初級=小学校中学生～5年生程度、受検料2000円

中級=小学6年生～中学1年生程度、受検料3000円

上級=中学2～3年生程度、受検料3000円

団体受検 ご希望の日時・会場で実施します。自宅・学校・グループごと(原則として30人以上)などで受検できます。

詳しくは、防災検定協会のホームページで <http://www.jbk.jp.net>



「事前課題」「検定テスト」「事後課題」をして、なにを心がけて行動するか。それでも多くの人たちの命を守ることにつながります。その一助になるのが、「ジュニア防災検定」です。

そんな時代に生きる私たちに欠かせないのが、「いざという時のための備え」「防災意識の大切さ」です。災害が起きた時に備えて、どんな準備をして、なにを心がけて行動するか。それでも多くの人たちの命を守ることにつながります。その一助になるのが、「ジュニア防災検定」です。

備をして、なにを心がけて行動するか。それでも多くの人たちの命を守ることにつながります。その一助になるのが、「ジュニア防災検定」です。

「事前課題」「検定テスト」「事後課題」をして、なにを心がけて行動するか。それでも多くの人たちの命を守ることにつながります。その一助になるのが、「ジュニア防災検定」です。

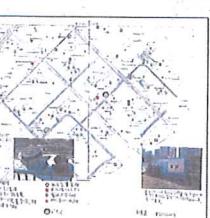
### 災害時の行動表を作成

災害時の行動表を作成	
JBKジュニア防災検定	
事前課題用紙	
令和元年5月21日	
神奈川県海老名市の小6 小林亜弥さん(11)	

「事前課題」としての「J BKバッジ」の獲得を目指します。企画推進事業部長、笠原正弘さんは「ジュニア防災検定は、単に知識や記憶力を問うだけのものではありません。検定を受けながら、今後起こる災害にどう対応したらいいのか、ぜひ家庭で話し合ってください」と話します。

災害について調べてくださることを決めて、防災・減災・復旧などを実践していきます。防災マップや防災新聞などを読み、災害の歴史などを調べて、自分の内容です。そしてステップ3は、「事後課題」としての自由研究です。自分でやることを決めて、防災・減災・復旧などを実践していきます。

「事後課題」としての自由研究です。自分でやることを決めて、防災・減災・復旧などを実践していきます。



昨年(第1回)の受検者は